

各 位

会 社 名 株式会社 ヤマックス
代表者名 代表取締役社長 茂森 拓
(コード: 5285 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 渡辺 宏之
(TEL. 096-381-6411)

熊本県工業大賞の受賞について

この度、当社が開発した「圧着式接合法（P J 工法）」（以下、「本工法」という。）が、一般社団法人熊本県工業連合会の「第27回（令和5年度）熊本県工業大賞」を受賞し、2024年5月22日の授賞式にて表彰されました。

今回受賞した熊本県工業大賞のテーマは「大型プレキャストコンクリート構造物における部材接合技術（本工法）の開発」で、その受賞理由は、

- ・さまざまな実験により耐久性や安全性等が学術的に検証されている。
- ・地震への対応も考慮されており、高速道路など既に実績がある。
- ・作業人員の削減が図れるとともに、大幅な工期短縮が図れる点、建設、工事ラッシュが続く熊本においては非常に有益な技術である。

と、高い評価を得ました。

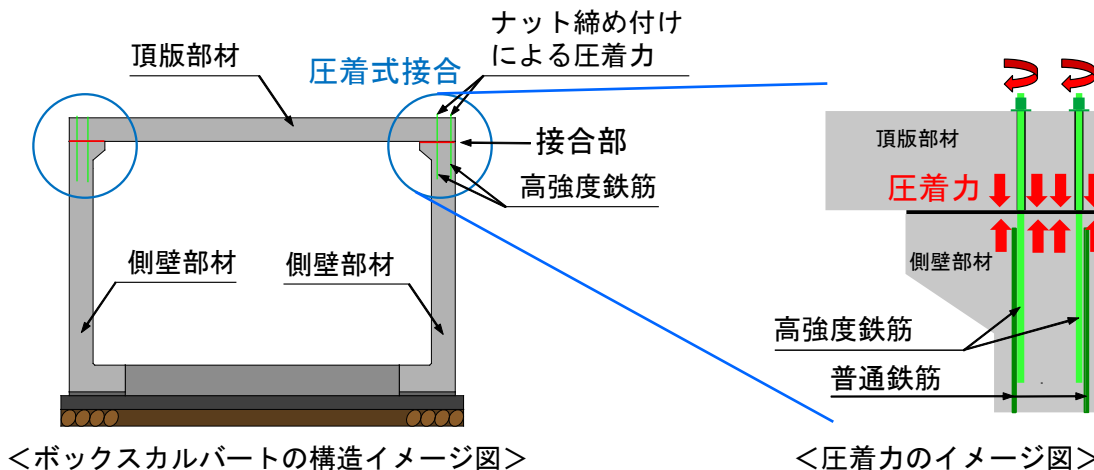
今回受賞した本工法の内容は、以下のとおりであります。

1. 本工法の概要

新開発した本工法は、工場で製造されたプレキャストコンクリート製品同士の接合において、圧着力を付与することでこれらを一体化させ、コンクリート構造物としての耐久性を向上させるプレキャスト部材接合技術となります。

本工法は、九州大学・長崎大学・熊本大学との共同研究により、検証実験の実施と構造安全性を確認するとともに、日本コンクリート工学会などの論文発表により、耐久性や安全性について学識者の評価を得ております。また、本工法に関する研究活動成果を取り纏めた当社社員が、博士（工学）の取得に至っております。

本工法は、既に国土交通省の発注工事でも採用されており、今後は主に、高規格道路などの立体交差部に多く活用されることが期待されます。





2. 本工法の特長

(1) 高強度異形鉄筋による圧着式接合工法

高強度鉄筋と構造用鉄筋との引張耐力差を利用して接合面に圧着力を与えることで、接合界面の剥離制御と復元特性により耐久性が向上いたします。

(2) 経済性と施工性

過密配筋が避けられ、部材も単純化できることで、製造、運搬及び施工が容易となり、経済性と施工性への効果が大きくなります。

(3) 鉄筋コンクリート構造

接合部に安全性を担保した鉄筋コンクリート構造として取り扱うため、カルバート工指針等に準拠した常時・地震動の作用に対する構造計算が可能となります。

(4) 隅角接合部の現場打ちコンクリート不要

接合部分には後打ちの現場打ちコンクリートが不要であるため、品質や耐久性の向上が期待できます。

(5) 大幅な工期短縮

現場工程が少ないため大幅な工期短縮が可能で、施工期間、施工時期の制約がある現場での対応が可能となります。



事例：南九州西回り自動車道
(内空幅10m×内空高6.6m)



事例：九州中央自動車道
(内空幅8m×内空高5.6m)



事例：国道3号植木バイパス
(内空幅5m×内空高6.75m)

以 上



そのほか、本工法は次の場所にて展示されます。

■ グランメッセ熊本 常設ショーケース

展示期間：2024年4月17日～2025年3月31日
展示場所：〒861-2235
熊本県上益城郡益城町福富1010

■ 熊本県庁 地下通路ショーケース

展示期間：2024年8月1日～2024年8月16日
展示場所：〒862-8570
熊本市中央区水前寺6丁目18番1号